

畜舎遠隔監視システム

C.E.S

対象となるお客様

畜舎をお持ちの業種が対象です。

- ・ 鶏舎
- ・ 豚舎
- ・ 牛舎
- … など



C.E.Sの機能

畜舎に異常がないか24時間監視！



C.E.S

個別
警報

停電
監視

豊富な
オプション

個別
警報

警報盤が鳴っている時に、どの警報かメールで即時にお知らせ

どこの異常かお知らせするため、その後の対応が早く行えます。(基本設計：24点まで。ご要望に応じ増加も可能)メールでのお知らせのため、即時に見返すことができます。確認作業の業務効率改善にもつながります。

停電
監視

畜舎の停電時にメールでお知らせ

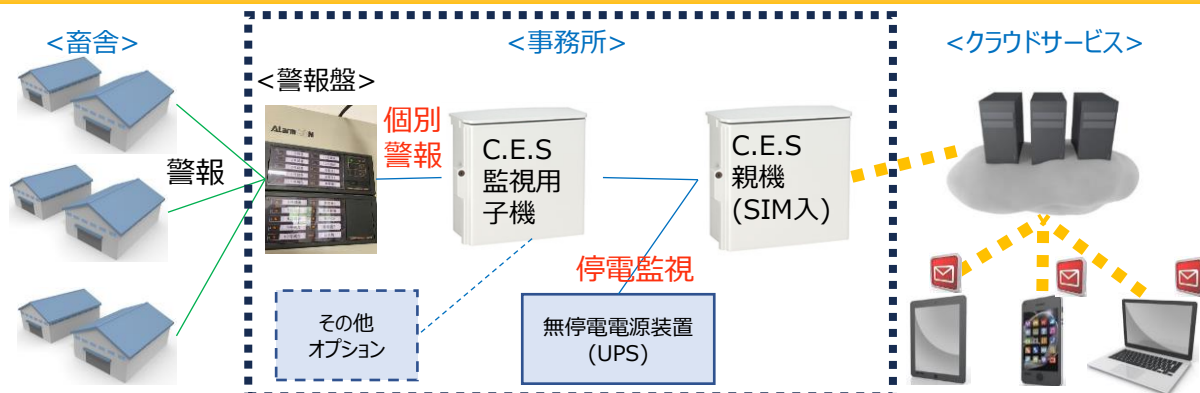
畜舎に停電が起きた際、メールでお知らせいたします。事故や盗難の防止の手助けをいたします。

豊富な
オプション

様々な見える化や制御により、監視体制がより強化

温度の見える化、湿度の見える化、電力量の見える化、プレーカー遮断の監視、システムの緊急稼働、デマンド監視、Webカメラ、電話・SMS通知…など、ご要望に応じた監視体制の強化が可能です。

C.E.S設置イメージ



C.E.Sのメリット

C.E.Sのメリット

細やかな監視のメリット

- ・迅速な対応
 - ⇒ 安全性の強化
 - ⇒ 機械停止時間の最小化
 - ⇒ 早期発見によるコスト削減

対策により再強化

メール配信のメリット

- ・スタッフの負担軽減/業務効率改善
 - ⇒ 一括周知によってリスクヘッジ
- ・データの収集と分析
 - ⇒ 警報履歴より頻度の分析と対策が可能に

警報盤メンテナンスの重要性の再認識

C.E.Sの導入検討にあたり警報盤のメンテナンス状況を確認します

警報盤の
メンテナンス
調査



【調査項目例】

- ・どのような警報盤を使用しているか？
- ・どんな警報を発しているか？
- ・畜舎完成後にメンテナンスしているか？
- ・現状のメンテナンス体制
- … など



【調査結果例】
停電時の補助電池(交換推奨時期2～3年)が2010年より替えられていない事が発覚

現状の確認、報告により警報盤のメンテナンスの重要性の再認識にもつながります

C.E.Sの機器仕様

※若干の変更がある可能性もございます

<親機>



親機 ハードウェア仕様		
構造	材質	筐体 : AAS樹脂板
	板厚	筐体 : 2.5 mm
	外形寸法	375 (W) X 319 (H) X 161 (D) mm
	従量	約 3.7 kg
電源	定格電源電圧	AC 100~240 V
	定格電源周波数	50 Hz, 60 Hz
	消費電力	約 10 W (AC 100V時)
動作環境	周辺温度	-10~40 °C
	周辺湿度	20~80 % (結露無き事)
	使用場所	屋内、屋外

<子機>



監視用子機(24点監視) ハードウェア使用		
構造	材質	筐体 : AAS樹脂板
	板厚	筐体 : 2.5 mm
	外形寸法	375 (W) X 319 (H) X 161 (D) mm
	従量	約 2.5 kg
電源	定格電源電圧	AC 100~240 V
	定格電源周波数	50 Hz, 60 Hz
	消費電力	約 10 W (AC 100V時)
動作環境	周辺温度	-10~40 °C
	周辺湿度	20~80 % (結露無き事)
	使用場所	屋内、屋外

SDGsへの寄与 -ロス削減で社会貢献、気候変動対策にも-



2 飢餓をゼロに



事故の防止、業務改善につながり地域社会や地球環境に貢献できます。SDGsの一環としてもご活用ください。

監視体制の強化により異常を早期発見し、事故等によるロス削減を目指します。

8 働きがいも経済成長も



異常の早期発見のお手伝いをし、働き方改革に寄与し就労環境の改善、労働意欲を向上します。

13 気候変動に具体的な対策を



ロスの削減による環境負荷の軽減、気候変動による食料不足への対策にもなります。